

令和7年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名：宇部市

1. 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	85.0%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	93.2%
全職員	71.6%

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
本庁部局長・次長相当職	96.0%
本庁課長相当職	97.4%
本庁課長補佐相当職	97.8%
本庁係長相当職	97.9%

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	100.4%
31～35年	97.9%
26～30年	94.4%
21～25年	94.8%
16～20年	88.4%
11～15年	90.0%
6～10年	84.6%
1～5年	87.5%

【説明欄】

- ① 週あたりの勤務時間が20時間未満の者については、職員数を1/2人として換算しています。
- ② 扶養手当や住居手当について、世帯主や住居の契約者となっている男性に支給している場合が多く、扶養手当の受給者に占める男性の割合は85.8%、住居手当の受給者に占める男性の割合は62.9%です。
- ③ 「任期の定めのない常勤職員」のうち、39.7%が女性であるのに対して、相対的に給与水準が低い「任期の定めのない常勤職員以外の職員」のうち、72.8%が女性となっており、全職員で比較すると男女の給与の差異が大きくなっています。
また、近年の女性の新規採用を増やした結果、勤続年数5年以下の区分に占める職員の女性の割合が58.7%となっており、相対的に給与水準が低い職員が女性に偏っています。

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。